

「現代社会における危機の解明と共生社会創出に向けた研究」部門

2020 年度活動報告（出版・研究会・講演会等）

2020 年度は、年度当初から新型コロナウイルスの影響により大学構内への立入規制と会議自粛が続いたため、かなり長期にわたり研究部門の研究例会活動を行うことができなかった。また、この数年間続けてきた東日本大震災の被災地調査も、さまざまな自粛のため十全に進められる状態ではなかった。そのため、今年度の当研究部門の活動としては、2020 年度の年度後半に予定されていた総合人文科学研究センター年次フォーラムの開催形態の検討や準備ということが中心になった。準備段階では感染状況に関するいろいろなケースが想定されたため、そのうち最も厳しいケースでも実施できる方法を模索することにした結果、次のようなフォーラムの設計となった。

総合人文科学研究センター 2020 年度年次フォーラム

「東日本大震災 10 年の軌跡と大規模災害からの復興をめぐって---新たな「日常」への模索---」

企画趣旨:

2021 年 3 月で東日本大震災から 10 年を迎えるが、このフォーラムでは、その間の被災地域における災害との格闘と軌跡を踏まえて、とくに長期の復旧復興過程からみえてきた課題を取り上げ、今後の復興のあり方を検討する足がかりとしたい。とくに東日本大震災 10 年を念頭においた長期にわたる復旧復興過程の検証として、脆弱性 (Vulnerability) や復元 = 回復力 (resilience) といった概念の含意を、危機的状況に晒された現場のリアリティを汲み上げながら掘り下げていくことが目的である。

開催方法:

今年度のフォーラムは、2021 年 1 月 9 日・10 日の 2 日間にわたるシンポジウムと、そのシンポジウムで部分的に紹介するコンテンツやシンポジウムの収録録画などの情報を期間限定で公開し視聴することのできる Web 環境などの提供という 2 つの企画から構成するものとする。

I. 1 月 9 日(土)～10 日(日)に実施するシンポジウム

開催形態は、両日とも Zoom によるオンライン配信 (事前予約制: 人文研 Web サイトに記載)

2021 年 1 月 9 日(土) 13:00～17:00 シンポジウム 「東日本大震災 10 年の軌跡と大規模災害からの復興をめぐって---新たな「日常」への模索---」 (共催: 科研 A「大規模災害からの復興の地域的最適解に関する総合的研究」プロジェクト、地域社会と危機管理研究所)

13:00～13:30 映像で見る津波・原発被災地の推移と現在

13:30～13:35 開会挨拶 総合人文科学研究センター所長 河野貴美子

13:35～13:40 フォーラムの企画趣旨説明 当研究部門代表 浦野正樹

13:40～14:20 東日本大震災の復興状況に関する概況と課題説明

浅川達人(人間科学学術院・教授)、吉野英岐(岩手県立大学・教授)

14:20～15:50 東日本大震災および海外の災害の復興状況レポート(日本語 or 英語)

海外ジャーナリストがみた東日本大震災の被災地(震災から約 10 年目の岩手の復興についての印象) -

----- Carmen Grau Vila (Journalist, Universidad Complutense de Madrid)

中国四川大地震からの復興-----伍国春(中国地震局地球物理研究所副研究員)

スマトラ地震・アチエの復興から学ぶこと--災害復興の長期的影響-----

Saiful Mahdi (Professor, Department of Statistics, Syiah Kuala University

ネパール大地震からの復興とジェンダー ----勝井裕美(NPO 法人 シャプラニール ネパール事務所
長)

新型コロナ時代におけるスペインの人びと----- Carmen Grau Vila

16:00~17:00 総合討論 言語:日本語 コーディネータ:浦野正樹

コメンテータ:黒田由彦(椛山女学園大学教授)、室井研二(名古屋大学准教授)、池田恵子(静岡大
学教授)、大矢根淳(専修大学教授)、吉野英岐、浅川達人、田中重好(尚絅学院大学教授・名古屋大学
名誉教授)。その他、被災地等からの参加者。

2021年1月10日(日)

10:00~12:30 解説付き動画配信:災害被災地の現状やこれまでの推移(コンテンツ紹介)

14:00~17:00 シンポジウム <あれから10年~わたしたちはフクシマを忘れない>「富岡町と浪江町の
10年目」(共催:シニア社会学会、科研A「大規模災害からの復興の地域的最適解に関する総合的研
究」プロジェクト、地域社会と危機管理研究所)

14:00~ 現地レポートとインタビュー(動画配信方式による)

【話題提供者】平山 勉(富岡町 ふたばいんふお・双葉郡未来会議)、原田雄一(浪江町 原田時計
店・まちづくりNPO 新町なみえ)、大坊雅一(浪江町 うなぎ大坊)

15:30~ 総合討論 (司会、話題提供者、その他討論者による。リアルタイム遠隔会議方式)

【司会・進行】川副早央里(東洋大学助教)、松村 治 (当研究部門招聘研究員)

II. 期間限定で公開し視聴することのできる Web 環境などの提供

視聴期間を2021年1月10日~3月25日までとした、YouTubeによる登録制の限定公開。

掲載内容としては、フォーラム内容、及びフォーラム内で使用した Contents、その他被災地の映像などであ
る。

*なお、これらのうち、東日本大震災被災地である岩手県大槌町に関する写真・動画映像などに関しては、被
災地において(会場:大槌町文化交流センター)、現地展示会(大槌町安渡地域アーカイブ展)を開催した。

これらの活動を通じて、あらためて災害が地域社会や被災した個人に及ぼす影響について、考える機会を得
た。その他、2019年度に開催したシンポジウムの概要を、Rilas Journal に論文として掲載するなど、研究面での
活動を工夫しながら行った年度であった。